

Topic.1 新ISO規格：ポスト新長期対応車両より装着されます

2010年春より、新たな環境対応車となるポスト新長期対応車が各メーカーより発表、リリースされていく予定ですが、大型車(概ねGVW12tクラス以上)の19.5インチ、22.5インチのホイール仕様がJIS方式より、ISO方式へ変更となります。アルコアはもちろん新ISOに対応する鍛造アルミホイールを準備しております。

■アルコアの新ISOホイールは3種類

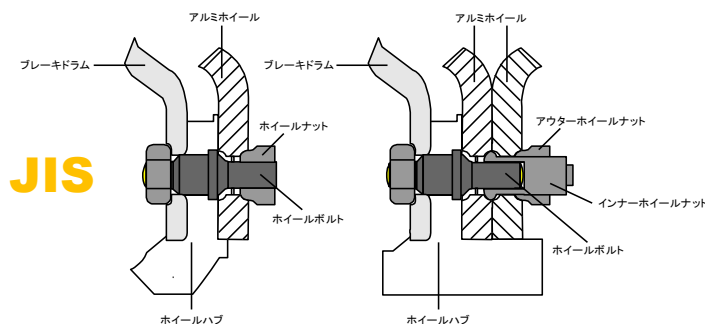
既存のJISホイールの代替となる3サイズとなりますが、19.5x6.75-8Hのみこれまで設定がなかった全くの新規格(ISO8穴)となります。22.5インチについては、国産バス車両や一部輸入車などでご利用いただいておりますが、今回の国内車両向けの新旧相違点と互換性については下記表を参照してください。

現行JISホイール			ISOホイール			
ホイールサイズ	部番	サイズ	現行部番	新部番	新旧ISOホイールとの互換性	主な相違点
19.5x6.75-8H	763353	➡ 19.5x6.75-8H	—	➡ 763423	X	新規格(互換品なし)
22.5x7.50-8H	873343/53	➡ 22.5x7.50-10H	874523	➡ 871523	○	飾り穴径
22.5x8.25-8H	883343/53	➡ 22.5x8.25-10H	886523	➡ 881523	○	飾り穴径

■JIS方式とISO方式の違い

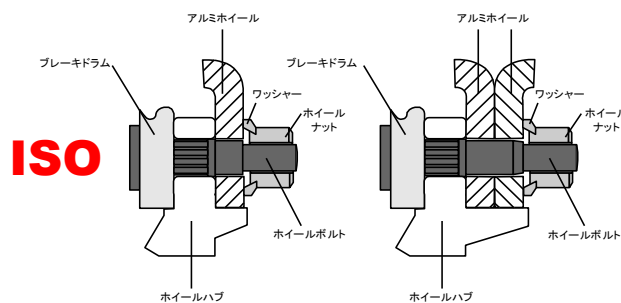
JIS方式

いわゆる「球面座」と呼ばれるナット座面が球面(R形状)となっており、各ボルト・ナットの当たりをバランス良く締付け固定することでホイールとアクスルのセンター出しをしています。特徴として、複輪部ではインナー・アウターの2つのナットを使用する点です。



ISO方式

JIS方式に対し、ISO方式は「平面座」と呼ばれる、ナット座面が平面になっていることが特徴です。またホイールのボルト穴もJIS方式のように座面加工が複雑な球面加工ではなく、ストレートのボルト穴が開いている構造です。複輪部の構造としては、JIS方式のようにインナーナットがなく、平座のナットで外側から2本のホイールを共締めする構造です。ホイールとアクスルのセンター出しは、ホイールのハブ穴とハブ側インローによって行う構造になっております。



上記のような違いはありますが、JIS方式からISO方式、どちらも適切な点検整備・管理をすることが重要となります。自工会(JAMA)発行の「新ISO方式ホイール取扱いガイド」では、より詳細な情報が記されていますので、[こちら](#)を参照してください。

Topic.2 アルコア・ホイールの本社事務所が移転します。

■本社事務所が移転となりますので、ご連絡致します。

新住所：〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7 NBF日比谷ビル1013号

代表電話 03-3539-6630 代表FAX 03-3539-6637

※フリーダイヤル 0120-391-416 はこれまで通り使用いただけます。

新事務所業務開始日：2010年5月6日(木)より

※ご注文のFAX受付は4月28日(水)18:00PMまで。4月30日は移転工事のため、FAX受信は不可となります。

アルコア・ホイール・ニュースはWebからもご覧になれます。 <http://www.alcoawheels.com/> より日本語サイトをご覧ください。